

## 平成26年度 指定管理施設評価結果

施設名	郡山市民文化センター
施設区分	c. 事業運営施設
指定管理者	公益財団法人郡山市民文化・学び振興公社
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日

評価項目		
I. 市民の平等な利用の確保（使用許可、使用料減免の状況等）		
II. 施設の効用の最大限の発揮（PR活動、サービス向上の取組、維持管理等）		
III. 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保（研修体制、経営の効率化等）		
IV. その他事項（法令順守、危機管理等）		
S（90点～100点） 「標準をはるかに上回る」 A（75点～90点） 「標準より良好」 B（60点～74点） 「適正（標準）」 C（45点～59点） 「要指導」 D（44点以下） 「管理運営体制の見直しが必要」	評価点 (100点満点)  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">79</span>	総合評価 (S, A, B, C, D)  <span style="font-size: 2em; font-weight: bold; background-color: yellow;">A</span>

H26実績			
指定管理料	255,947 千円	(前年度比)	( 32,882 千円)
利用者数	419,875 人	(前年度比)	( 15,438 人)

サービス向上対策	
内容	新規
公衆電話の撤去に伴い、施設利用者がタクシー呼び出し等の連絡が出来なくなったため、事務所での電話利用の対応を行った。	○
広く郡山市民文化センターの情報を発信するため、郡山市民文化センター公式facebookを継続した。	○
利用者が館内での現在位置、利用施設の場所が容易にわかるようにするため、案内表示等の見直しを行い、南口・西口、エレベーター内、各階に施設の案内表示を新設した。	○

評価概要
<p>公衆電話の撤去に伴い、事務所での電話利用の対応を行ったり、館内の案内表示板を新設し、利便性向上に努めたことが評価できる。</p> <p>また、目の不自由な方や車イスの方が来館したときなどは、積極的に座席まで案内するなど介添えを行った。危機管理の点では避難訓練のほか、自衛消防操法大会へ参加するなどの取り組みを行っている。</p> <p>広報、PR活動については各種団体の方への周知活動や折込チラシの発送など行ったが、その効果を確認することが難しかったため、どのような広報活動が効果的なのか検討し、さらに充実させていくことが必要であると思われる。</p> <p>また、自主事業の企画をする上で、より効果的な事業を選ぶなど、事業収入の向上に努める必要がある。</p>

総合評価経年比較				
H26	H27	H28	H29	H30
A	—	—	—	—